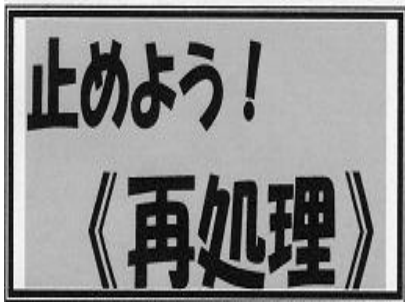


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) 三陸の海・岩手の会
郵便振替 02240-5-102650
ホームページ [再処理/岩手の環境](http://www.coocan.jp)
[/RI 廃棄物 \(coocan.jp\)](http://www.coocan.jp)
《本紙の全バックナンバー掲載》



《天恵の海》
2024(令和 6年)
7月 1日
第258号
編集事務局 S.Oshida
TEL・FAX 019-623-1636

7.7 女川原発 再稼働反対行動 福島事故を起こした同じ型の老朽原発

緊急避難の難しい
牡鹿半島
場所



福島原発事故の検証も未解明のまま

来る七月七日、宮城県女川原子力発電所の再稼働阻止をめざして、現地女川町内で講演会とパレードが開催されます。講師は、3・11福島原発事故の被ばく者の声をルポし発信しているジャーナリスト青木美希さんです。

講演はオンラインで発信され、盛岡では岩手県高校教育会館大ホールで大画面での視聴集会が持たれます。

五月二五日、岩手の市民達が原発視察バスツアーで女川町を訪れ、原発の現状を学習しました。町民から「女川原発は、福島事故原発と同じ一九七〇年代マークI型で安全対策も不十分な旧式です。しかも3・11の地震・津波で被災し修理を重ねて来た傷だらけの老朽原発です。福島事故原発は現場検証さえ出来ていません。本当に不安です」との声を聞きました。

女川現地で集会とパレード

東北電力の方針

「9月中に2号機を再稼働する」

東北電力は本年二月一九日、女川2号機を九月に再稼働すると公表しました。能登半島で元日早々震度7

の大地震被害があったにもかかわらず、避難計画も不十分のままです。国民の安全をないがしろにしたこの発表に大きな怒りの声が高まっています。

仙台全国集会と長蛇のデモ
一〇〇〇人を超える
3・23

東北電力女川原子力発電所

■ 三機の原発

- 1号機 52万4000Kw 沸騰水型 (マークI) 1984.6 営業運転開始 2018.12 運転終了
 - 2号機 82万4000Kw 沸騰水型 (マークI改良) 1995.5 営業運転開始
 - 3号機 82万4000Kw 沸騰水型 (マークI改良) 2002.1 営業運転開始
- 使用済み核燃料は合計2790体(580ウラントン)が上層階のプールで冷却中です。

■ 原発の被災:現状

2011年3.11 東日本大震災で、大きな損傷を被り、以後現在まで停止中です。
3.11以後 3回の震度5級の地震あり

■ 原子力規制委員会の審査経過

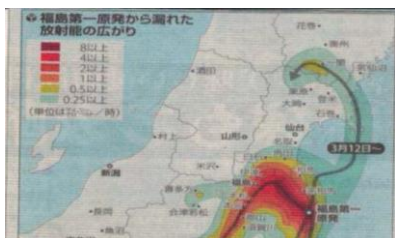
- 2013年 12月7日 2号機:「新規基準適合審査」を原子力規制委員会に申請
 - 2020.2.26 原子炉設置変更許可申請:許可
 - 2021.12.23 工事計画認可申請:許可
 - 2023.2.15 保安規定変更許可申請:許可
- 原子力規制委員会は責任を負えるのでしょうか?

女川原発再稼働は、重大事故潜在リスクが高く、三月には稼働阻止全国集会が持たれました。女川原発は事故を起こした福島原発と同型ですが、福島原発は放射線量が高く「事故の現場検証」もなされていません。

岩手からの連帯を

女川原発で事故が起これば岩手県も甚大な被害を受けます。日本海溝の陸よりの海域を震源域とする大地震が三〇年以内に70〜90%の確率で起こると政府の地震調査委員会が予測を引き上げており、稼働をさせないことが大切です。

宮城県で貯蔵の放射能汚染物の焼却 について
岩手県知事へ 質問書
本会が提出



福島事故原発から、宮城県には多量の放射性物質が飛来した

五月二三日、私達三陸の海・岩手の会は、岩手県知事に質問書を提出しました。内容は、福島原発事故時に宮城県下で発生した放射性汚染廃棄物を宮城県外で焼却処分するとの情報がありますが、実施あるいは計画の有無についてお尋ねします、と云うものです。ある場合は、即時停止措置及びその内容の通知を求めます、とし、六月二四日までの回答を求めています。県から、七月一二日に延期したいとの意向が示され了解しました。

女川原発視察バスツアー報告記

旧式マーク1型老朽原発の再稼働に戦慄

元女川町議 高野博さんのお話から (尚)

女川町は一八mを超える大津波に

盛岡から三四人を乗せて出発したバスが女川町役場付近に到着した時、最初に目撃したのは女川交番の頑丈な鉄筋建造物が横倒しにされた姿でした。女川は波高一八m以上の大津波に襲われ町並みの三分の二が次々に流され、死者・行方不明者合わせて八二七名の犠牲者を出しました。



横倒しの鉄筋建造物

女川原発は紙一重で助かった

町役場から丘陵を一つ超えた海岸に女川原発がありました。この原発港にも波高13mの津波が押し寄せました。原発敷地高まであと80センチの差で津波の直撃を免れましたが、実際には五系

統あった外部電源のうちたった一系統残ったのみ。1号機は高圧電源室が火事。2号機は地下室に海水が浸入し残った熱交換器もA系統のみの片肺冷却でした。四月十七日の余震も含めて紙一重で大事故を免れましたが、これは全くの偶然でしかありません。



1号機高圧電源監視室 鉄筋建造物

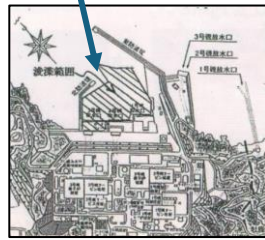
住民運動が港湾のしゃんせつ(浚渫)提言。大事故を防いだ

「紙一重の差」の話に、もう一つの安全策の話がありました。それは下図の女川原発港の浚渫の話です。チリ地震津波の時の女川原発の港内は引き潮でマインス6m位の湾底が見えしました。住民説明会で、住民が「これでは原発の海水冷却が止まる。もっ

と湾港を深くするべきだ」との意見を述べました。東北電力は、その後、浚渫工事を行い、海面下10.5mまでの掘上げました。

高野さんは港を深くし波頭がせり上がらない効果があったと述べました。

女川原発港を10.5mの深さに浚渫



マーク1型は旧式老朽原発だ

高野さんは、女川原発は福島原発と同じで事故対策があまりに貧弱ですと強調しました。例えば①原子炉の格納容器が加圧式型に比し容積が9分の1しかなく狭い。②使用済み核燃料プールが上階にあり事故時に冷却水が漏れる危険が大きい。③冷却水の喪失は、核燃料ペレットのジルコニウム合金被覆管の空気中での燃焼とその破損に繋がる想定される。女川原発製造時のジルコニウム被覆管の製造企業が倒産し現在日本には不在である。④溶接工事は特に難しく応力腐食割れも進んでいる等をあげました。

高野博さんと多々良哲さんを囲んで

岩手からのバスツアー…意見交換会

現地で案内して戴いたお二人を囲んで意見交換会が持たれました。参加者から質問や意見が多く出され、私(尚)も二点ほどを質問しました。

女川周辺に福島原発からの放射能が飛来?

（質問）福島原発事故時の放射能の拡散について、福島原発からの放射能が、宮城県と岩手県南部に飛来したとの報道があった。特に女川原発周辺で1時間あたり21マイクロロシベルトで、普段の700倍だったという。これは福島原発からの放射能とするより、女川原発からのものと考えるべきではないのか？

□答え。その点は私たちにも疑問の声がありました。しかし、当時の風向や放射線核種の数値などから福島からきたとの判断もあり得ます。

ハ○○○ベクレル/kg超えの稲藁と牧草

（質問）女川原発市民運動の「通信」に「宮城県は事故後高レベル放射性汚染物を該当市町村で保管してきたが、今後県外に

移送して焼却するという方針を打ち出した」との記事がありました。岩手の焼却施設にも送られて来ているのでしょうか？

□答え 大崎町での運動の中でそのような動きがある事を知り、追及している。特に焼却を考えているのは「8000ベクレル/kgまで下がった稲藁と牧草です。移送して処分したいらしい。とんでもない事です。

県高校会館 大ホールに視聴会場



7.7 女川集会 講演会

◆盛岡では、会場を借りて、大画面でオンライン視聴します。

会場：岩手県高校教育会館 大ホール(盛岡市志家町)

講演会時間：一三時半～一五時

*視聴集会参加の申し込みは、岩手県生協連までご連絡下さい。

電話：019-684-2225

ファックス：019-684-2227

アルファ処理水のことを考えるチラシ



被曝の危険…科学的な知識を子供達にこそ知ってほしい

三陸の海を放能から守る岩手の会
http: sanriku.my.coocan.jp